



適用事例13

「VRS後処理キネマティック法」による標定点測量

株式会社日本海コンサルタント・日本海航測株式会社

標定点測量において、従来の静止測量ではなく、もっと簡便な方法でかつ所要の精度を確保することを目的に、高速スタティックと後処理VRSデータにより生成させた多角網を三次元網計算する「VRS後処理キネマティック法」(仮称)を試みた。

* 高速スタティック:ここでは1台の測量機で1秒間隔、5分の静止観測を行うものとする。

■作業工程フロー

